

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大正会館
施設所管課・担当	大正区役所地域協働課（地域協働グループ）（電話:4394-9743）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種事業の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与すること(区役所附設会館条例第2条第1項)
業務の概要	(1) 貸館運営業務 (2) 施設総合管理業務 (3) 地域のコミュニティ振興に寄与する事業
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	50%/80%
指定管理者名	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	50%	80%
年度実績	44.8%	96.6%
達成率	89.6%	120.7%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	45,275	53,098	-7,823
稼働率	44.8%	45.3%	-0.5%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	25,853,697	24,765,086	3,263,697	電気及びガス代等エネルギーコストの高騰に伴う経費の補填
	計画	22,590,000	22,590,000		
利用料金収入	実績	4,825,790	5,755,890	-1,515,210	2か月の改修工事等で部屋が使用できない期間が多く生じたため
	計画	6,341,000	6,174,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	5,862,479	5,900,349	-1,157,521	物価高騰に伴い事業の一部縮減
	計画	7,020,000	6,770,000		
合計	実績	36,541,966	36,421,325	590,966	
	計画	35,951,000	35,534,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	18,063,688	17,801,582	0	
	計画	18,063,688	17,801,582		
物件費	実績	14,684,656	13,596,407	2,727,944	・電気及びガス代等エネルギーコストの高騰に伴う経費の増加 ・各設備の老朽化、通常消耗による不具合が起こり、修繕費の増加
	計画	11,956,712	11,924,818		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	4,074,271	3,964,052	-1,717,329	物価高騰に伴い事業の一部縮減
	計画	5,791,600	5,741,600		
合計	実績	36,822,615	35,362,041	1,010,615	
	計画	35,812,000	35,468,000		

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率	89.6%	B	ホール吊物改修工事や外壁打診調査の影響で、ホールや稼働率の高い第 6 会議室が使用できなかったことを考慮する。
利用者満足度	120.7%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ 5 R の実践 ・ 未使用エリア・時間帯の空調停止や消灯 ・ コピー用紙の再利用(裏紙の利用)	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	相見積もりにより縮減した定期点検費用を修繕費用に充填した。また、安全確保が可能な小規模修繕を職員が行うことで業務代行料の削減に努めた。 周辺の治安が乱れないよう敷地内不法駐輪自転車への速やかな対応や、職員による噴水広場の定期清掃を行っている。また、独自のチェックシートにより敷地内巡視を行い、不審者侵入や事故等の未然防止に努めた。 消防訓練において、AEDの使用方法を復習し、事故や災害へ備えている。
事業計画の実施状況	B	自主事業について、ホームページやSNSを活用しての情報発信など、工夫を行っている。 多くの区民が利用するフロアでの市民PRコーナーにおいて、季節感のあるレイアウトを施し、区内のお知らせ・大正区等の歴史等の掲示により定期的な新情報の発信を行った。 会館内の掲示物や案内板にて「やさしい日本語」の表記や、ピクトグラムの使用、また、日本語・中国語・韓国語等の多言語表記に努め、サービス向上を図っている。
施設の有効利用	A	大阪市図書館フェスティバルやまちづくり活動見本市といった、各種団体との協働イベントや、「たいしょうみんなのショートタイム」、「たいしょう愛ランド」など大正会館を拠点とする連携協働事業により、幅広い世代が参加することができ、新規交流の機会を提供している。区役所の閉庁時間帯や閉庁日等、年末年始を除き開館している強みを活かし、地域コミュニティづくりのためのプラットフォームとして、地域で活動している各種団体相互間、また、それらの団体と行政との連絡調整が円滑に図られる場として活用されている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	法令等に基づき、事務が進められている。設備定期点検を徹底することで安全な環境を確保し、適切な施設管理運営を維持している。

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

【調査方法】
アンケート形式

【調査期間】
令和 7 年 7 月 1 日～8 月 3 1 日実施
令和 8 年 1 月 1 5 日～2 月 2 8 日実施

【回答数】
第1回 7 2 部、第 2 回 1 0 5 部

【質問項目】
予約手続きの満足度、スタッフの対応満足度、清掃状況の満足度、備品や設備の満足度、ホームページの満足度

【結果】
大変満足及び満足を選んだ人の割合が、「予約手続き」「スタッフの対応」の項目で100%、「清掃」で90%後半となっており、各項目で高い満足度を得ている。
また、備品・設備を未使用の層、ホームページを見ていない層を除き、全項目において概ね高い満足度を得ていることが確認できる。

6 外部専門家意見

評価内容におおむね異論なし。
コスト面のみを重視した運営を行うのではなく、施設を地域のプラットフォームとして活用し利用につなげることが重要である。
不測の事態が生じて施設が使えなくなった場合の減収について、収入の補填など含め市の対応の検討が必要。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用率は計画を下回ったものの工事等で使用できない部屋があったため想定内の水準であると認められ、また利用者満足度は数値目標を大幅に上回って目標を達成している。
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B +	地域コミュニティづくりのためのプラットフォームとして、域活動活性化の場として活用されている。 施設の老朽化に伴い、設備の不具合が増加していることから、日常点検ハンドブックを用いて点検を行い利用者の安全性と利便性の確保に努められたい。 利用率向上に向け自主事業の参加されたグループやサークルを、施設の利用につなげる取り組みを進められたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	